

入省案内2024

一般職(デジタル・電気・電子)
(情報セキュリティ・IT人材)

ひと、
くらし、
みらいのために



ひと、くらし、みらいのために

厚生労働省

Ministry Of Health, Labour And Welfare

デジタル技術を活用し、国民生活の質の向上と社会経済の発展に寄与

厚生労働省における情報分野の仕事 ～全体を統括するPMO、個別の情報システムを整備するPJMO～

Mission

厚生労働省全体のデジタル化施策を統括するPMO（全体管理組織）

PMOでは、デジタル統括責任者及び副デジタル統括責任者のリーダーシップの下、デジタル分野における見識と高い専門性を有するデジタル統括アドバイザーからの助言・指導を得ながら、省内の情報システムを統括し、デジタル・ガバメントの実現に向けたマネジメントを行っています。

PMOは、大臣官房情報化担当参事官室及び政策統括官（統計・情報システム管理、労使関係担当）が運営しています。

所管業務のデジタル化を推進するPJMO（プロジェクト推進組織）

PJMOは、所管業務を遂行するための情報システムを整備し、行政サービスの効率的・効果的な提供を行います。厚生労働省において、政府内でも大規模となる情報システムを扱うPJMOとしては、政策統括官（厚生労働省LANシステム）、年金局（公的年金業務）、労働基準局（労働基準行政、労働保険適用徴収、労災保険給付）、職業安定局（職業紹介、雇用保険給付）があります。

田中厚生労働審議官 デジタル統括責任者・最高情報セキュリティ責任者



デジタル技術の活用による行政の礎づくり

厚生労働省は、国民一人ひとりが家庭、職場、地域等において、持てる力を発揮し、ともに支え合いながら、健やかに安心して生涯を送ることができるよう、社会保障・労働政策を通じて、将来にわたる国民生活の質の向上と社会経済の発展に寄与することをその使命としています。厚生労働行政は、国民生活に密接に関わるものであるため、国民の皆さんが必要とする行政サービスを公正・迅速・的確に提供することが求められています。

その推進に当たっては、行政の基盤として、デジタル技術の急速な進展を取り込んで最大限活用するとともに、情報セキュリティ対策の強化等、着実な取組を進めることが必要です。

このため、厚生労働省では「厚生労働省デジタル人材確保・育成計画書」を策定し、デジタル人材の計画的な確保・育成に取り組んでいます。その一環として、一般職（デジタル・電気・電子）を計画的に採用し、将来を見据えたキャリアパスを示しつつ、情報システムの企画・立案、プロジェクト管理等に関するスキルの向上を図っています。

デジタル技術に関する知識豊富な皆さん、ぜひ一緒に厚生労働省で、国民生活の質の向上や社会経済の発展につながる社会の礎を築きましょう。

キャリアパス

採用にあたっては、ご本人の意向を踏まえ、厚生行政・労働行政のいずれかで採用し、

- ・厚生行政の場合は、主にPMOや、基幹LANないし年金システムの運用等、
- ・労働行政の場合は、主にハローワークシステム、労働基準システムの運用等

に関する事務に従事することとなりますが、各ステージごとの主な役割は以下のとおり。

	係員	係長級（8年目～）	補佐級（18年目～）	課長・室長級
キャリアパス	<ul style="list-style-type: none">● 2～3年ごとにシステム運用部門、セキュリティ対策部門、システムを利用する業務部門を異動し経験を積みます。● 労働行政では、全国いずれかの都道府県労働局、労働基準監督署又はハローワークでの実地研修により現場も経験します。	<ul style="list-style-type: none">● 担当するシステムや、セキュリティの企画・立案、予算要求等を担当します。● 労働行政の場合は、都道府県労働局への業務指導、調整なども担当します。	<ul style="list-style-type: none">● 課の予算要求・管理、システムの企画・調整を担当します。● 労働行政の場合は、都道府県労働局幹部職員（部長など）としてマネジメント業務に携わることもあります。	<ul style="list-style-type: none">● 本省課・室長（又は都道府県労働局長）として課・室（や労働局）の業務の総責任者を担います。

大臣官房、政策統括官（統計・情報システム管理、労使関係担当）

業務内容 ～デジタル電気電子区分として活躍できるフィールド～

主な勤務場所

中央合同庁舎5号館（霞が関）

デジタル技術の活用による業務改革に取り組む

●PMOとして

デジタル・ガバメントの実現に向けて、厚生労働省の情報システムの整備及び管理における企画、調整、評価、予算審査及び調達支援や、申請・届出等手続におけるオンライン利用促進、デジタル人材確保・育成等の取組を行っています。

●医療DX・データヘルス改革

少子高齢化が進む中で、健康寿命の延伸、社会保障制度の持続可能性の確保といった我が国の課題に対応するため、健康・医療・介護分野の各制度で蓄積されたビッグデータの利活用や最先端技術の導入により国民がメリットを感じられるICTインフラの整備などを行っています。

●サイバーセキュリティ対策

電子データの漏えい・改ざん等を防ぐための事前の危機管理やその対策、サイバー攻撃等を検知した際の初動対応等の指導や、事案の発生から終息に至るまでの状況等を分析し、省内情報システムの運用部門等と共有することで、更なる対策の強化に取り組んでいます。

●省の基幹システムの企画・運用等

厚生労働省の各機関（約2,100箇所）をセキュアな広域回線で接続したネットワーク基盤、電子メールやファイル共有、各種業務支援システム等を集約したグループウェア（利用者約7万人）、「厚生労働省ホームページ」など業務処理の基幹となる情報システムを企画・運用しています。

政策統括官付サイバーセキュリティ担当参事官室（サイバーセキュリティ企画係）

宇谷（2022年入省）

現在の業務

「厚生労働省情報セキュリティポリシー」の管理・運用を行っています。

厚生労働省情報セキュリティポリシーは厚生労働省の職員が情報を守るための最低限の取組を規定しています。

主な担当業務は、職員からの各種相談・申請対応や、情報セキュリティにおける他府省庁との窓口対応、情報セキュリティについての周知・教育研修のコンテンツの作成です。

皆さんへ

当省は過去に甚大な情報漏えいが発生したこともあり、同じ問題を引き起こさないためにも、情報セキュリティがとても重要視されています。そうした中で、情報セキュリティに関する業務に係わることは、とても誇りとやりがいを感じられます。

情報セキュリティはケースバイケースで判断する必要があることも多く、その際にはITの知識をはじめとした様々な知識が求められるため、皆さんがこれまでに学んできた知識を活かせる場面がきっとたくさんあるはずですので、ぜひ一緒に働いてみませんか。

印象深い業務

生成AIサービスの利用に対する情報セキュリティの検討業務です。

最新技術である生成AIサービスの業務への活用の可能性や生成AIサービスが抱えるリスクなどの様々なことを学ぶことや普段業務において関わり合いがない方々との交流ができ、とても貴重な経験となりました。



年金局

業務内容 ～デジタル電気電子区分として活躍できるフィールド～

主な勤務場所

中央合同庁舎5号館

日本年金機構本部（高井戸）

●社会保険オンラインシステム

公的年金制度は国民の身近な暮らしを支えるものであり、その複雑な制度を正確かつ公正に運営するために構築されている、非常に大規模なシステムが社会保険オンラインシステムです。

●多岐に渡るサービスの実現

社会保険オンラインシステムは、公的年金（国民年金や厚生年金保険など）に係る被保険者記録の管理から、年金の給付、相談に至るまで、多岐にわたる日本年金機構のサービスを実現しています。

●サービスの実施体制とシステム

社会保険オンラインシステムは、全国の年金事務所や事務センター等と日本年金機構本部をネットワークでつなぎ、それぞれの役割に応じたサービスを実現しています。このため、市区町村や金融機関など数多くの外部機関とも密接に連携し情報交換を行っています。

●IT化の推進及び大規模なシステムプロジェクトへの取り組み

政府全体で推進している手続の電子化などの、利用者中心のサービス改革への取り組みや、現在稼働しているシステムの課題に対応するため、大規模なシステムの見直しに取り組んでいます。

複雑な公的年金制度を正確かつ公正に運営

年金局事業企画課システム室 情報企画係長

大和田（2005年入省）

現在の業務

～公的年金業務を支える～

当室は、日本年金機構と一体となり、公的年金制度を情報システムの側面から支える業務を担っています。

私は、日本年金機構の職員と共に、社会保険オンラインシステムを構成する代表的なシステムである記録管理システム等の刷新にあたって、必要となる予算を機構や関係府省と調整する予算要求業務、また、実際に各開発事項が計画どおりに進むように、調達からシステム開発、稼働に至るまでを多くの関係者と調整し、管理する執行管理業務などに取り組んでおります。

皆さんへ

政府最大級の社会保険オンラインシステムを安全かつ円滑に稼働させ、さらに刷新を進めていくためには、様々な役割を持つ担当者が連携して一体となって成果を発揮することが求められます。

今まさに、大きな節目を迎えている社会保険オンラインシステムに是非活躍の場を見出していただき、我々と共に、皆さんがお持ちのITスキルを活かしてみませんか。

印象深い業務

現在、記録管理システム等の刷新に段階的に取り組んでいるところであり、昨年秋に2段階目のシステム開発に着手しました。政府最大級のシステムの刷新であり、着手までの過程において多くの関係者からは様々な方向から意見が示され、その調整には非常に苦労しました。

システムの稼働に向けては様々な調整がまだまだ続いておりますが、まずは着手にこぎ着けられたことは微力ながらも重要な役割を果たせたと実感できました。

これだけの規模のプロジェクトは過去に例はなく、ほかの部署では得られない貴重な経験を積むことができていると強く実感しております。



労働基準局

業務内容 ～デジタル電気電子区分として活躍できるフィールド～

主な勤務場所

上石神井庁舎
中央合同庁舎5号館

●労働保険適用徴収システム

労働保険適用徴収システムは、労働保険等（労災・雇用など）の適用や保険料の徴収に関する事務、債権管理に関する事務を行うためのシステムです（利用者約4万人、約10の外部システムと連携）。

※労災保険：労働者が仕事（業務）や通勤が原因で負傷した場合、また、病気になった場合や不幸にもお亡くなりになった場合に、被災労働者やご遺族を保護するための給付等を行っています。

※雇用保険：労働者が失業した場合や育児・介護のために休業した場合、また、自ら教育訓練を受けた場合に、生活・雇用の安定と就職の促進を図るための給付等を行っています。

●その他 労働基準行政システム

労働基準行政（監督・安全衛生・労災補償）の業務を行うためのシステムです。業務を行っている全国の都道府県労働局・労働基準監督署の利用者は1万人を超え、20以上の外部システムとの連携を行っている大規模システムです。

労働基準局労働保険徴収課 労働保険徴収業務室 業務第一係長

嘉藤（2009年入省）

現在の業務

～労働保険料の適正徴収のために～

国民の皆様からお預かりしている労働保険料は、年度更新などの機会を通じて、事業主の皆様はもとより労働者の皆様にも一部ご負担いただいています。

労働保険徴収業務室では、労働保険料を適正に徴収するために、ご負担いただく方の情報や労働保険料などの徴収額をシステムを使用して管理しています。

皆さんへ

私は、システム関係の業務が初めてで、理系学部出身でもないため、当初は、専門の運用保守業者の方に教えてもらいながら業務を進めていました。本来は、専門家に頼らずとも、システムの設計書や複雑な計算式にまで精通し、システムがどう動くか、予測できなければと日々考えています。

行政に限らず、業務がどんどんDX（デジタルトランスフォーメーション）化し、システムも複雑になっていく中で、厚生労働省でも本採用区分のような専門家の育成が急務だと考えています。

大学で関連分野の素養を身に付けた方、現在、民間企業で活躍されている方は、是非、本採用区分に応募いただき、厚生労働行政のDX化にご活躍いただければと思います。

印象深い業務

私が日々業務をする中で、一番恐れているのが、誤った労働保険料をシステムで算出し、保険料をご負担いただく皆様や現場で対応する職員の方にご迷惑をおかけしてしまうことです。令和4年度は、年度の途中で雇用保険料率に変更されるというシステムでは想定していない事態が生じ、システムの動きに間違いがないか対応に非常に苦労しました。

システムは規模が大きく、複雑になればなるほど、1か所の変更が他の機能に思わぬ影響を及ぼします。また、システムの性質上、誤作動は常に生じますので、日々のメンテナンスと細かい改修を愛情を持ってしていくことが大切だと思っています。



職業安定局

業務内容 ～デジタル電気電子区分として活躍できるフィールド～

主な勤務場所

上石神井庁舎

中央合同庁舎5号館

使
い
や
す
く
信
頼
で
き
る
シ
ス
テ
ム
の
開
発
に
取
り
組
む

●ハローワークシステム

ハローワークシステムは、全国のハローワークで行われている職業紹介や雇用保険などの業務処理を行うためのシステムで、全国で約1,300拠点で使用されている、行政機関の中では最大級の規模のシステムです。ハローワークシステムを通じて、仕事探しをする方や失業して雇用保険を受給する方など、多くの方の生活を支えています。

●ITサービスの推進

コロナ禍以降、オンラインでの職業相談・失業認定といった取り組みを開始するなど、ハローワークのサービス全体のデジタル化を推進しています。ハローワークの利用者には、様々な理由でハローワークの窓口へ来所することが困難な方もおり、オンラインでのサービスを提供することも非常に重要な取り組みとなります。

●今後求められる業務内容

利用者に対し、より質の高いサービスを提供するため、ハローワークの既存の業務プロセスを抜本的に見直し効率化して、利用者の利便性の向上と職員の生産性の向上の両面を実現するシステムを構築することが求められています。そのためには、業務内容とシステムの双方を知識を持った上で、システム改修の費用対効果を確認し、業務を「システム化する部分」「そうでない部分」に切り分けを行える人材が不可欠です。デジタル電気電子区分の皆様には、ぜひそうした人材としてご活躍いただきたいと考えています。

職業安定局労働市場センター業務室 室長補佐

鈴木 (2004年入省)

現在の業務

～ハローワークの業務を支える～

ハローワークシステムのうち、雇用保険の支給などを実施する雇用保険システムを担当しています。

雇用保険は、全国に約4,500万人の被保険者がおり、1日に10万件近くの給付金の支払いを行うこともあります。その業務を支えるのが雇用保険システムです。

国民生活を支える極めて重要なシステムで、日々確実に稼働することが求められます。

皆さんへ

職業安定行政は非常に変化が激しく、各種雇用対策など、変更内容を速やかに実現することを求められることが多い行政です。そうした要望に応えるためには、変化に容易に対応できる柔軟性のあるシステムを構築することが不可欠で、その点は未来永劫変わることのない大きな課題になり続けると感じています。

皆様のITに関する知識と情熱を存分に活かせる行政であることは間違いありません。職業安定行政を支える仲間として、ぜひ一緒に働きましょう！

印象深い業務

制度改正に基づくシステム改修案件が非常に多い点です。特に、法改正に伴う案件は、大規模でかつ改修のスピードも求められる難易度が高いものになりますが、その中で、いかに既存の機能を活用しながら効率的な業務運営を実現するかを検討し、開発業者や制度所管課室と日々相談しています。

大規模なシステムなので思い通りにいかないこともありますが、自分の提案が通り、効率的なシステム改修が実現できると感じられた時には、非常にやりがいを感じられます。



研修

採用後、役職に応じた最新のデジタルスキル・マネジメントスキルを習得できるよう、IT 及び情報セキュリティ関係等の豊富なメニューの研修が用意されています。

一例として、デジタル庁にて用意する各役職に応じた情報システム統一研修や、情報処理技術者国家試験合格のための対策講座等、様々な研修を受講することができます。

国家試験合格のための対策講座が用意されているものとしては、基本情報技術者、応用情報技術者、各種 ITSS レベル 4 試験があり、無料で受講が可能です。また、国家資格試験の受験料が免除される場合もあり、費用負担なく情報処理技術者国家試験を受験できる環境が整っています。

採用 Q & A

Q：最初に配属されると、ずっとその部署で勤務するのですか？

A：一般職（デジタル・電気・電子）は、厚生行政（官房・年金）・労働行政（基準・安定）のいずれかを中心に概ね 2 年ごとに異動を重ね、様々な業務を経験することとなります。

Q：退庁時間はどれくらいですか？

A：働き方改革として、在庁時間の縮減やテレワークの活用推進といった取組みを行っています。繁忙期で帰りが遅くなる時期もありますが、そうでない場合は原則 20 時までに退庁としています。

Q：人事異動時に個人の希望は反映されますか？

A：必ずしも本人の希望どおりになるとは限りませんが、定期的実施する意向調査により、本人の希望や配慮すべき事情を確認するとともに、能力や適性を勘案して、適材適所となるような人事異動が行われています。

Q：休暇は取得しやすい環境ですか？

A：休み方改革として、マンスリー休暇(毎月 1 日以上)の年次休暇を取得するといった取組みを行っています。夏季特別休暇(3 日)に加え、年次休暇を 2 日以上取得し、連続して 1 週間以上の休暇取得も推奨しています。

採用実績

令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
1 (1)人	2人	3 (1)人	4人	1 (1)人

※()は女性の数を示します。

ある職員の 1 日

大臣官房情報化担当参事官室（ICT 利活用推進係）

徂徠（2019 入省）

9 時（登庁） メールチェックと予定の確認。班内に自分の今日のスケジュールを共有。

11 時～ 12 時 RPA ロボットの導入を希望する課室が提出した資料を精査し、ヒアリングを調整。

昼休み 食堂で販売しているお弁当。月 1 回程度、同期と近くの飲食店へ。

14 時～ 16 時 事業者との打ち合わせに出席。今後の RPA ロボットの導入方針について議論。

16 時～ 18 時 稼働中の RPA ロボットの導入効果についての資料をまとめ、班内に共有。

19 時（退庁） 今日完了した作業と明日以降のタスクを整理して退庁。

<現在の職務について>

厚生労働行政の情報政策を推進する室に所属し、省内業務への RPA（ロボットによる業務自動化）の導入を担当しています。RPA を活用し、定型な業務はロボットが代行することで、職員が判断が求められる業務に注力できる環境の整備に取り組んでいます。

IT に関する専門的な知識を活用しつつ、省内業務への理解や RPA の導入を行う課室の職員との連携など、事務官としての能力も必要とされる職務です。



MINISTRY OF HEALTH, LABOUR AND WELFARE

入省案内2024

一般職(デジタル・電気・電子)
(情報セキュリティ・IT人材)



ひと、くらし、みらいのために

〒100-8916

東京都千代田区霞が関1-2-2 中央合同庁舎第5号館

TEL.03-5253-1111(代表) FAX.03-3595-1605

<http://www.mhlw.go.jp/>

[【採用ホームページ】](#)

厚労省 デジタル電気電子

検索

<https://www.mhlw.go.jp/general/saiyo/kokka2/kokka2-kousei/den-jouhou.html>



2024年 採用スケジュール

2/22(木)～3/25(月)	国家公務員試験 受付期間
6/2(日)	第一次試験
未定	厚生労働省 業務説明会 <small>(※日程については、決まり次第ホームページへ掲載します。)</small>
6/26(水)	第一次試験 合格発表日
未定	人事院主催 官庁合同業務説明会
7/2(火)～	官庁訪問
7/10(水)～7/26(金)	第二次試験日(人物試験)
8/13(火)	最終合格発表日
10月	採用内定

問い合わせ先

政策統括官付参事官付

統計・情報総務室 人事第一係

(内線 7339)

厚生労働省(代) 03-5253-1111

質問メールの宛先

厚生労働省一般職採用

(情報セキュリティ・IT人材) 担当

itjinnzai@mhlw.go.jp